

2025 年度

第 35 回 専門看護師（CNS）認定審査 審査・申請の手引き

■申請前にご確認ください■

認定審査の各日程は締め切り厳守です。必ず日程を確認ください（6 ページ参照）
パソコンでの申請を推奨します

動作環境

パソコン	Microsoft Edge	: Version 130
	Google Chrome	: Version 130
スマートフォン	iPhone Safari	: Version 18
	Android Google Chrome	: Version 130

【審査申請の受理】

日本看護協会は、審査申請と審査料の振込の確認をもって、申請を受理します

【書類審査と筆記試験】

日本看護協会は、申請受理後、各提出物に基づく書類審査を行います。書類審査の合格者に対し、筆記試験を実施します

専門看護師は日本看護協会の登録商標です



公益社団法人 日本看護協会

■審査・申請に関する問い合わせ先■

「AI 自動応答システム（チャットボット）」をご利用ください

【パソコンから利用する場合】

本会公式ホームページからご利用ください

[看護職の皆さまへ] → [資格認定制度]（各制度のページでも利用いただけます）



日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に、資格認定制度を運営しています。専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の3つの資格があり、認定と5年ごとの認定更新を行っています。専門看護師、認定看護師では分野特定を、認定看護師、認定看護管理者では教育機関の認定を行っています。医療の高度化や専門化に伴って活躍の場が増え、認定者の数は年々増加しています。

クリックして質問を入力ください

【スマートフォンから利用する場合】

以下の二次元コードを読み取り、ご利用ください



日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に、資格認定制度を運営しています。

専門看護師[®]、認定看護師[®]、認定看護管理者[®]の3つの資格があり、認定と5年ごとの認定更新を行っています。専門看護師、認定看護師では分野特定を、認定看護師、認定看護管理者では教育機関の認定を行っています。医療の高度化や専門化に伴って活躍の場が増え、認定者の数は年々増加しています。

※専門看護師、認定看護師、認定看護管理者は日本看護協会の登録商標です。

重要 専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の

クリックして質問を入力ください

目次

1. 専門看護師（CNS）認定審査 実施概要	4
1-1 認定審査	
1-2 受験資格	
1-3 2025 年度専門看護師（CNS）認定審査の日程等	
1-4 専門看護師教育課程の 38 単位移行に伴う審査方法の変更	
2. 申請方法	7
2-1 提出物一覧（オンライン）	
2-2 事前準備	
2-3 『資格認定制度 審査申請システム』申請方法・審査書類の提出（STEP1～6）	
2-4 申請を取下げる場合	
3. 書類審査合否の確認と受験票の印刷	27
3-1 日程	
3-2 書類審査合否の確認	
3-3 受験票の印刷	
3-4 受験準備	
4. 筆記試験	30
4-1 日程	
4-2 会場	
4-3 方法	
4-4 出題範囲	
4-5 当日の持ち物	
4-6 受験の注意事項	
4-7 合格基準	
4-8 筆記試験を欠席する場合	
5. 審査合否の確認と認定料の振込	33
5-1 日程	
5-2 審査合否の確認	
5-3 認定料の振込	
6. 登録内容の確認と情報公開の設定	35
6-1 登録内容の確認	
6-2 情報公開の設定	
7. 認定証等の発行及び受領	37
7-1 認定証の発行	
7-2 認定証の受領	

8. その他の事項	37
8-1 審査に関する情報開示	
8-2 個人情報保護方針	

9. 再受験	39
9-1 再受験とは	
9-2 再受験区分及び必要な提出物・審査料	

参考資料

10. 専門看護分野の実務研修におけるフィールド	42
11. 専門看護分野における実務研修内容	43
12. 参考図書	43
12-1 総合	
12-2 コンサルテーション	
12-3 倫理調整	

1. 専門看護師（CNS）認定審査 実施概要

1-1 認定審査

目的

各専門看護分野において卓越した看護実践能力を持ち、6つの役割（実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究）を果たすことができる能力を有しているかを確認する

審査の方法と内容

- 1) 書類審査：専門看護師（CNS）の受験資格を有しているかを審査する
- 2) 筆記試験：専門看護師（CNS）として必要な6つの役割を果たすことができる能力について審査し、可否を判定する

1-2 受験資格

専門看護師（CNS）認定審査を受験する者は、2025年6月申請時点において、次の1)～3)に定める要件を全て満たしていなければならない

※受験資格を有していることが確認できない場合、書類審査不合格となり筆記試験を受験することはできない

- 1) 日本国の看護師免許を有すること
- 2) 所定の教育を修了していること（下記のいずれかの条件を満たしていること）

コース内	① 看護系大学大学院修士課程修了者で、日本看護系大学協議会専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得した者。なお、看護系大学大学院修士課程修了者で、日本看護系大学協議会専門看護師教育課程基準の所定の単位に満たないものは、必要単位をさらに取得するものとする ⚠注意 ・ 本会公式ホームページの「専門看護師教育課程一覧（参考資料）」に記載のある大学院修士課程を修了し、「CNS 共通科目」「専攻分野共通科目・専門科目」の有効期間内に所定の単位を修得している ・ 上記に該当しない場合はコース外となる 例1：各専門看護師教育課程の「CNS 共通科目」「専攻分野共通科目・専門科目」の有効期間外に取得した単位がある 例2：専門看護師教育課程として認定される以前に教育課程で取得した科目・単位が一部ある
コース外	② 看護学以外の関連領域の大学院等を修了した者で、①において必要単位をさらに取得した者 ③ 外国において①または②と同等以上の教育を受けたと認められる者

※コース外に該当する科目については、科目ごとに日本看護系大学協議会の分野別の審査基準と照合し、基準を満たすか審査を行う。コース外の提出書類の詳細は23ページを参照

※日本看護系大学協議会により認定された専門看護師教育課程に相当する科目・単位を取得したと認められれば、教育要件を満たすと判断される

3) 専門看護師として必要な下記(1)～(2)全ての実務研修を行っていること

(1) 看護師免許を取得後、通算5年以上の実務研修を受けており、そのうち通算3年以上は特定の専門看護分野における実務研修であること

(2) 専門看護分野において下記①～⑥の実務研修をしていること

① 実践	個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する
② 相談	看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う
③ 調整	必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々との間のコーディネーションを行う
④ 倫理調整	個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決を図る
⑤ 教育	看護者に対しケアを向上させるための教育的機能を果たす
⑥ 研究	専門知識及び技術の向上ならびに開発を図るための実践の場における研究活動を行う

⚠ 注意

- 専門看護分野の実務研修のフィールドについては、42ページの「専門看護分野の実務研修におけるフィールド」を参照すること
- (2)の①～⑥については、履歴書「実務研修内容」に具体的に（誰に対して何を実施したのか）入力すること
- 勤務形態は常勤、非常勤を問わない。ただし非常勤の場合、「実質勤務時間150時間」を「1カ月」相当として換算し、(1)の実務研修時間（通算）を満たしていることが必要
- 大学・大学院（専門看護師教育課程含む）等における教育としての勤務期間は、実務研修期間として認めない
- 上記の要件を満たしていれば、外国における実務研修も同等に扱う

1-3 2025 年度専門看護師（CNS）認定審査の日程等

日程	すること	参照ページ
6 月 2 日（月）10：00～ 6 月 16 日（月）15：00	- 審査申請 - 個人情報の登録内容の編集 - 履歴書の提出 - 履修単位自己申告書の提出 ※コース外修了者のみ - 審査料の振込	7～20 ページ
6 月 2 日（月）～ 6 月 23 日（月）消印有効	審査書類の提出（郵送）	21～26 ページ
6 月 17 日（火）11：00 ～ 10 月 8 日（水）17：00	過去問題の開示・ダウンロード	37 ページ
9 月 10 日（水）11：00～ 10 月 8 日（水）	書類審査合否の確認 - 受験票の印刷（直筆署名） - 試験会場の確認	27～29 ページ
10 月 8 日（水）	筆記試験	30～32 ページ
12 月 23 日（火）14：00 （予定）	審査合否の確認	33～34 ページ
12 月 23 日（火）～2026 年 1 月 9 日（金）15：00	認定料の振込	34 ページ
2026 年 1 月（予定）	氏名・施設名の公開/非公開の登録	35～36 ページ
2026 年 2 月下旬以降	認定証の受領	37 ページ

1-4 専門看護師教育課程の 38 単位移行に伴う審査方法の変更

日本看護系大学協議会による「専門看護師教育課程の審査」は、2020 年度までに 26 単位の専門看護師教育課程基準（以下、旧基準）から 38 単位の専門看護師教育課程基準（以下、新基準）に移行した。それに伴い、教育要件に関する「専門看護師認定審査の申請方法」を変更する

新基準：2024 年度以降 38 単位のみ申請可

- 26 単位の修了者は、コース外修了者となる。専門看護師認定審査の申請には 38 単位が必要なため、不足分の 12 単位を追加履修し、単位を取得した上で申請する
- 26 単位・38 単位のいずれかで専門看護師の資格を取得した場合でも同一の資格である
- 2023 年度以前に、26 単位で専門看護師認定審査を受験し不合格だった者が、12 単位の追加履修をした上で、2024 年度以降の認定審査の申請をする場合、「再受験」には該当せず「新規受験」の扱いとなる

2. 申請方法

2-1 提出物一覧（オンライン）

提出物は新規受験者、受験資格審査合格者、再受験区分によって異なるため、下記を確認の上準備すること

提出物	新規 受験者	受験資格審査 合格者	再受験区分※1			
			①	②	③	④
看護師免許証※2	○	過去の審査でアップロード済みの場合は不要				
履歴書	○	○	○	○	—	—
履修単位自己 申告書※3	コース外 修了者のみ	—	コース外 修了者のみ	—	—	—

※1 再受験区分については 39 ページ「再受験」を参照。ただし、2023 年度以前に、26 単位で専門看護師認定審査を受験し不合格だった者が、12 単位の追加履修をした上で、2024 年度以降の認定審査の申請をする場合、「再受験」には該当せず「新規受験」の扱いとなる

※2 原本（カラー）をアップロードすること

※3 「履修単位自己申告書」は、SC-2 の「履修単位証明書等」で申告した単位のうち、専門看護師教育課程に相当する単位が 38 単位以上あることを確認するために作成する

2-2 事前準備

教育要件のコース内・コース外の確認（「1-2 受験資格」参照）

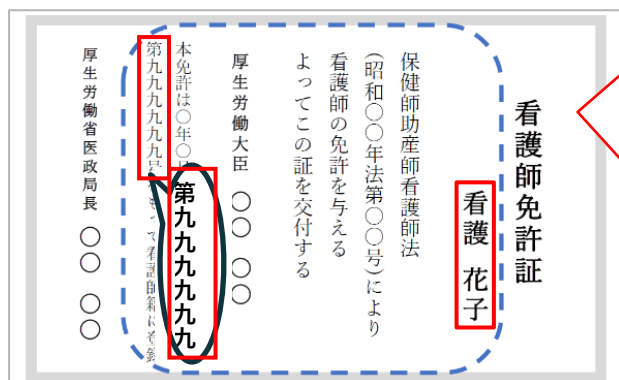
本会公式ホームページ掲載の「専門看護師教育課程一覧（参考資料）」を参照し、自身が取得した科目・単位が教育要件のコース内・コース外のどちらに該当するか事前に確認する

また、教育課程での取得単位数と日本看護系大学協議会で認められた単位数（申請単位数）が異なる場合があるため、申請単位数が 38 単位以上あることもあわせて確認する

アップロード用画像の準備

看護師免許証の原本（カラー）をデジタルカメラ・携帯端末等で撮影する。ファイルの形式は、JPG・JPEG・GIF・PNG とする

■看護師免許証



赤枠内が読取可能か確認する

- ・氏名
- ・看護師免許番号

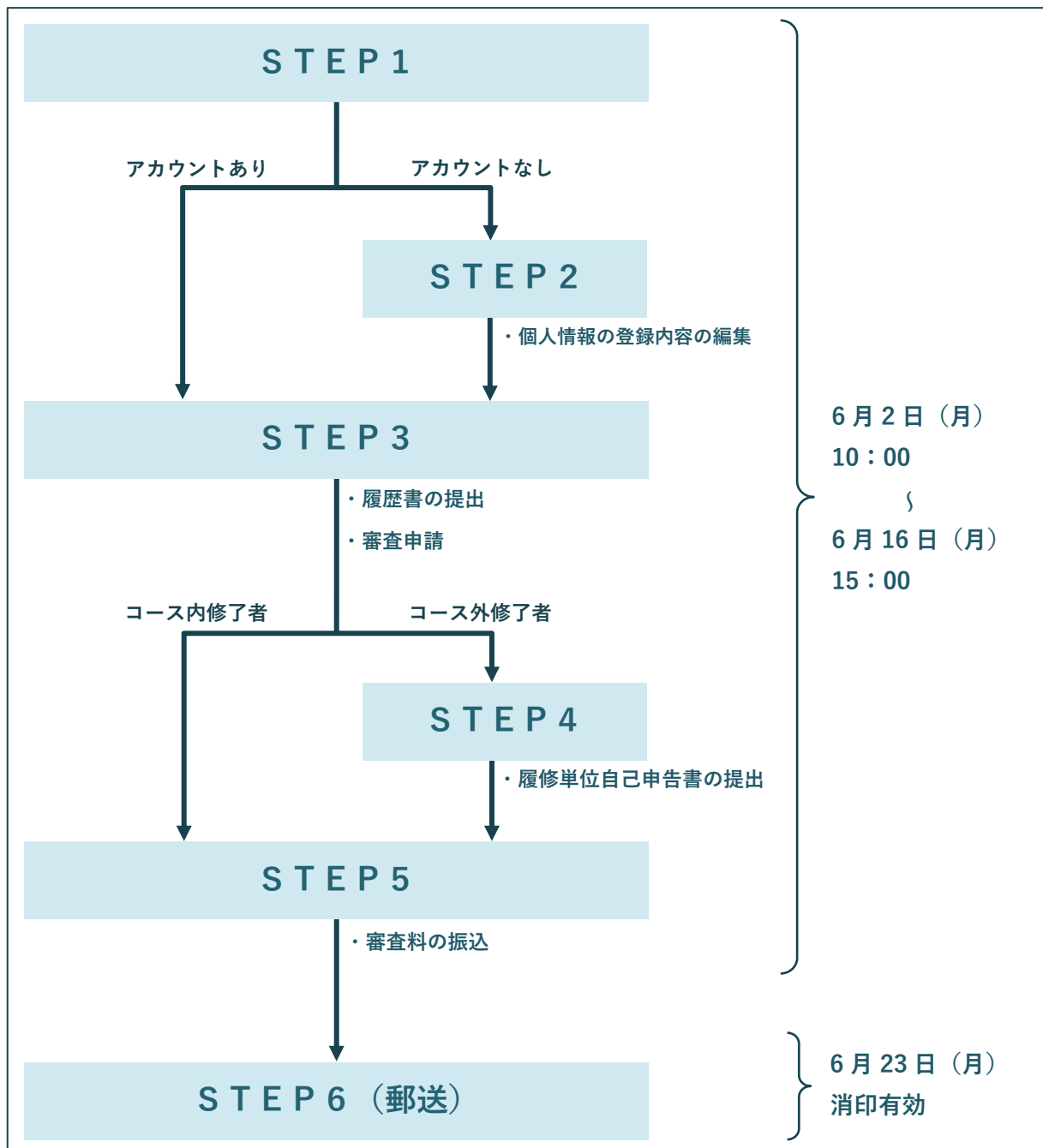
⚠ 注意

読み取りが困難な場合は点線（青）のレイアウトを撮影する

2-3 『資格認定制度 審査申請システム』 申請方法・審査書類の提出（STEP1～6）

- 1) 申請期間内に、『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）より申請を行う
URL：https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx
- 2) 期間内に STEP1～6 全てを完了すること。期限を過ぎての審査申請及び履歴書の提出は受け付けない

STEP 1～STEP 6（郵送）までの全体像



STEP 1

▶ 『資格認定制度 審査申請システム』へのログイン

すでにアカウントが登録されている場合

下記に該当する者はユーザーID（看護師免許番号）と過去に自身が設定したパスワードを入力し、**ログイン** をクリック

- 再受験者
- 今回申請するものとは別の認定資格をすでに有する者
- 過去に別の資格や分野について審査申請したことのある者

⚠ 注意

パスワードが不明な場合は、「パスワードがわからない方はこちら」よりパスワードの再設定手続きを行う

初めてアカウントを作成する場合

看護師免許番号を入力し、**ユーザー登録画面へ** をクリックする

⚠ 注意

看護師免許番号はユーザーID として登録されるため、免許証原本を確認の上、正確に入力する

氏名・住所・メールアドレス・所属先等に変更がある場合、**個人情報編集** をクリックし、編集を行う（STEP 2 参照）

STEP 2へ進む

（個人情報の登録内容の編集）

STEP 3へ進む

STEP 2

▶ 基本情報の登録

個人情報編集

入力 確認 完了

基本情報

看護師免許番号 必須

氏名(漢字) 必須 姓 名

氏名(カナ) 必須 セイ メイ

性別 必須 ☐ 男性 ☐ 女性

生年月日 必須 年 月 日

最終学歴 必須

[トップへ戻る](#)

基本情報を入力する

▶ 看護師免許証画像のアップロード

看護師免許証画像確認 データス

看護師免許証

画像未登録

画像アップロード

クリック→アップロード画面がポップアップウィンドウで表示される

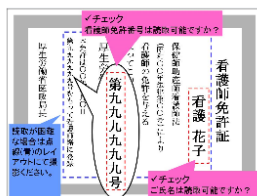
画像選択

画像パス

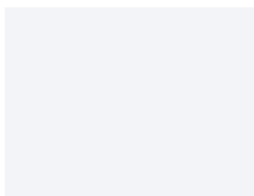
ファイルを選択

クリック→事前準備した免許証画像を選ぶ

サンプル画像



アップロードされた画像



キャンセル

選択完了

画像を確認し、**選択完了**をクリック

▶ 所属先情報の登録

所属先情報

就業状況 ☒ 就業中 ☐ 離職中

※「就業中」の場合、所属先情報は必須入力となります。
※「離職中」の場合、郵便物送付先は「自宅」となり、所属先情報の入力/変更はできません。

施設名選択 都道府県で検索

法人名

施設名

郵便番号 〒 例) 0001234 住所検索

都道府県

市区町村

番地

マンション・ビル名

部署名

職位

常勤・非常勤

診療報酬決定に係る施設基準の届出状況

郵便物送付先 ☒ 自宅 ☐ 職場

就業中の場合、プルダウンから都道府県名を選び、検索ボタンをクリック

→ 次画面にて、所属先施設名もしくは「該当なし」をクリック

→ 該当なしの場合、再度＜所属先情報画面＞に戻るため、法人名以下を入力

住所は全角で入力

▶ 個人情報保護方針及び登録情報の確認

- 1) 「日本看護協会個人情報保護方針は [こちら](#) 」をクリックし、内容を確認
→ 同意の場合、[個人情報保護方針を理解し承諾する] にチェックする
- 2) [確認画面へ](#) をクリックし、＜個人情報編集確認画面＞にて情報を確認する
→ 内容が正しければ [登録する](#) をクリック
入力した内容に不足等があれば、[入力画面に戻る](#) で編集画面に戻り修正する

⚠ 注意

- 入力内容に不備がある場合、画面上部にエラーメッセージが表示され、登録はできない。エラーメッセージを確認の上、再度入力し登録すること
- 個人情報は上記登録完了後も編集が可能。登録されたメールアドレス・住所に、認定部から通知メール・郵便物を送付することがあるため、転居や職場の異動等により変更が生じた際は速やかに情報を更新すること
- 申請時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている自宅住所（47 都道府県）の会場での受験となる

STEP 3 へ進む

STEP 3

▶ 審査申請

看護 花子様  個人情報編集

メインメニューの **申請メニュー** をクリック

 **申請メニュー**
認定看護師、認定看護管理者、及び専門看護師の各種申請が行えます。

 **申請状況一覧**
各種申請状況の照会とオンライン書類の登録・提出ができます。

 **認定資格一覧**
保有する認定資格の確認、及び公開許諾の更新が行えます。

 **再交付手続き**
認定証、認定バッジ、認定証カードの再交付が行えます。

↓

申請メニュー

現在受付中の審査が掲載されています。新しく開始したい手続きを選んで進んでください。
申請中の手続きの現状については [申請状況](#) をご覧ください。

専門看護師 認定看護管理者

認定申請の方はこちら

[受験資格審査申請（こちらからは認定申請はできません）](#)

認定申請の方はこちら をクリック

⚠ 注意
認定審査と受験資格審査は異なる。認定審査を申請する場合は、受験資格審査申請をクリックしないこと。認定審査の申請ができなくなる

↓

申請状況一覧

認定資格名をクリックすると、詳細画面に遷移します。
オンライン申請書類の作成/編集、受験票の印刷など、各種操作は詳細画面より行ってください。

現在の申請状況

年度 申請区分 認定

専門看護師 [] **クリック**

↓

申請状況詳細

年度 申請区分：認定

専門看護師[]

申請ID： 再受験区分：- **書類送付表出力**

オンライン申請書類

履歴書 未提出 **確認・編集**

クリック→<履歴書編集画面>がポップアップウィンドウで表示される

▶ 履歴書の提出

【履歴書の提出における入力上の注意事項】

- 2025 年 6 月申請時点の情報について記載する
 - 学歴は高校卒業を含めず、それ以降を明記する
 - 学校名・学科名は正式名称を記載する
 - 入学年月、修了年月を入力する
 - 備考には、本会公式ホームページ掲載の「専門看護師教育課程一覧（参考資料）」にある教育課程の「番号」を半角で入力する
 - 職歴は、看護師免許取得後の全ての看護実務（教育職を含む）を、施設先・部署・職位が変わるごとに記載する
 - 所属先の名称は、正式名称を記載する
 - 職歴は期間（年月）を重複して入力することはできない
 - 連続で 6 カ月以上の研修、進学、休職、教育職、看護実務のない企業等の在職期間については、分野区分は「その他」を選択する
 - 大学・大学院等の教員としての勤務時間は、実務研修期間としては認められないため、分野区分は「その他」、内容は「教育職」を選択する
 - 部署は 42 ページの「専門看護分野の実務研修におけるフィールド」を参照し、3 東や 5E 等の病棟名ではなく、消化器内科、脳外科等の診療科名及び対象者や看護ケアの特徴等を具体的に入力する
 - 実務研修内容は、申請者自身が当該看護分野で実施した内容（誰に対して何を実施したのか）を項目別に、具体的かつ簡潔にまとめる（各項目 10 字以上 200 字以内）
- (例)

実践	大腸がん患者及び家族に対する告知後の看護
相談	ケアを拒む患者の看護について担当看護師に対してコンサルテーションを実施
調整	地域の医師、看護師とチームを形成し、終末期がん患者の在宅支援を調整
倫理調整	認知機能が低下した高齢者に対して治療選択に関する倫理調整を実施
教育	地域連携をテーマとし、他施設の看護者に対して勉強会を実施
研究	〇〇学術集会等で発表した専門分野に関する研究発表、特別講演や基調講演等 演者、シンポジスト等 ※修士課程で取り組んだ研究（修士論文等）のタイトルのみの記載でもよい

履歴書編集

入力

確認

申請ID			
申請年度	2021	申請区分	認定
資格区分	専門看護師	分野	

申請 ID、申請年度、申請区分、資格区分、分野に誤りがないか確認する

- ・記入すべき内容については手引きを参照してください。
- ・非常勤の場合、期間(月数)には実際の勤務時間に基づき、月数に換算した値を入力してください。
- ・専門看護師の認定申請の場合、「実務研修内容」に個人を特定できるような記述をすることは避けてください。
- ・認定申請の場合、看護実務研修期間が規定に達していないと、「確認画面へ」は有効になりません。

入力上の注意事項を確認する

履歴書

※学歴は、修了見込みを記載してください。

※専門看護分野の

行を追加

行を追加 をクリックし、履歴書の入力行を表示する

学歴/職歴	学歴				
入学年月	年	月	修了年月	年	月
期間(月数)	0か月				
教育機関名	例) ○△大学大学院▽▽科				
備考					

学歴を入力する

削除する

職歴は、「分野区分」はプルダウンから「当該看護分野」「当該看護分野以外」「その他」を選択し、看護師免許取得後の全ての看護実務（教育職を含む）を施設先・部署・職位が変わるごとに入力する

学歴/職歴	職歴(常勤)				
開始年月	年	月	終了年月	年	月
期間(月数)	0か月		所属施設名	例) △△病院	
部署	例) 消化器内科病棟		職位	例) 主任	

実務研修内容

実践 必須	
相談 必須	
調整 必須	
倫理調整 必須	
教育 必須	
研究 必須	

実務研修内容を入力する
13 ページの例を参照すること

看護実務研修期間の確認

当該看護分野
※36ヶ月以上

60

当該看護分野以外

0

合計
※60ヶ月以上

60

看護実務研修期間(職歴から自動計算)
が当該看護分野 36 カ月以上、合計 60
カ月以上であることを確認する

入力内容を一時保存する場合は
保存する をクリック

保存する

確認画面へ

入力内容を確認後、保存する をクリックの上、確認画面へ をクリックし、＜履歴書
確認画面＞で提出内容に誤りがないか最終確認する

⚠ 注意

入力内容に不備がある場合、画面上部にエラーメッセージが赤字で表示され、保存や確認画面
に進むことができない。エラーメッセージを確認の上、入力内容を修正し、再度 保存する ま
たは 確認画面へ をクリック

<履歴書確認画面>

- 1) 入力内容に追記・修正する場合は、**入力画面に戻る** をクリックし、<履歴書編集画面>へ
戻り追記・修正を行う
- 2) **提出する** をクリック

⚠ 注意

- 期日までに必ず **提出する** をクリックし、提出を完了すること
- 期日までに履歴書の提出が確認できない場合、書類不備として不合格となる
- **提出する** をクリックした後は内容の追記・修正はできないため、十分確認の上、提出する

<申請状況詳細画面>

オンライン申請書類		
履歴書	提出済	確認・編集

「提出済」となっていることを確認する

コース内修了者は
STEP 5へ進む

コース外修了者は
STEP 4へ進む
(履修単位自己申告書の提出)

STEP 4（コース外修了者のみ）

▶ 履修単位自己申告書の提出

入力にあたり、60 分間 **保存する** を押さないとタイムアウトとなるため、適宜保存すること

申請状況詳細

2021年度 申請区分：認定
専門看護師[]

申請ID： 再受験区分： 書類送付表出力

オンライン申請書類

履修書	未提出	確認・編集
履修単位自己申告書	未提出	確認・編集

クリック→<履修単位自己申告書編集画面> がポップアップウィンドウで表示される

履修単位自己申告書編集

申請区分、資格区分、分野に誤りがないか確認する

氏名		申請ID	
申請年度	2021	申請区分	認定
資格区分	専門看護師	分野	

入力上の注意事項を確認する

- ・記入すべき内容・入力手順については必ず手引きを参照の上入力してください。
- ・記入した情報に対して、すでに認定単位として実績がある場合は、自動的に申請単位数が表示されます（変更不可）。
- ・入力方法に不備がある場合は、エラーメッセージが表示され、入力内容は保存されません。
- ・選択した教育課程単位数の基準を満たすと提出が可能になりますので「提出する」ボタンをクリックしてください。
- ・「提出する」ボタンをクリックし、提出が完了するまでは、追記修正が可能です。追記修正した場合は必ず「保存する」ボタンをクリックしてください。
- ・「提出する」ボタンをクリックし、提出が完了した後は、内容の再編集及び再提出はできないため、内容を十分確認の上、提出をお願いします。
- ・提出後は、本申告表を印刷し、修士課程の履修単位証明書を含む書類と合わせて送付してください。

教育課程単位数 **26単位** 教育課程単位数を「38 単位」とする

教育機関情報

都道府県	
教育機関名	
手入力	

教育機関情報を入力する。都道府県を選択後に、プルダウンで選択もしくは、手入力の欄に教育機関の正式名称を入力する

実際の画面では、「教育機関の追加」
「行の追加」をクリックすると以下の
入力画面が表示される

[CNS 共通科目] [専攻分野共通科目]
[専攻分野専門科目] [実習] のそれぞ
れについて、追加する をクリックし、
コース名、科目名、取得単位数、取得年
度を注意事項に従い入力する

教育機関の追加

教育機関名：

CNS共通科目

削除する

追加する

コース	コース外	科目名	
取得単位数		取得年度	
日本看護系大学協議会 CNS課程基準	-	申請単位数	-

- [コース] はプルダウンから選択
- [科目名] は、「修士課程の履修単位証明書または成績証明書等」に記載の科目名と同一にする
- [取得単位数・取得年度] に、取得した単位と取得年度を入力
- [日本看護系大学協議会 CNS 課程基準・申請単位数] に、履修した科目に相当する科目をプルダウンで選択し、申請する単位数を入力
- 申請単位数の合計を確認する

⚠ 注意

複数の教育機関で単位を修得している場合は、教育機関を追加し、それぞれの教育機関ごとに履修科目・単位数等を入力する

申請単位数

CNS共通科目

最低単位数	8
申請単位数合計	8

専攻分野科目

最低単位数	12
申請単位数合計	12

実習

最低単位数	6
申請単位数合計	6

合計

最低単位数	26
申請単位数合計	26

保存する

提出する

提出する をクリック

⚠ 注意

- 入力内容に不備がある場合、画面上部にエラーメッセージが赤字で表示され、保存や確認画面に進むことができない。エラーメッセージを確認の上、入力内容を修正し、再度 保存する または 確認画面へ をクリック
- 提出する をクリックした後は内容の追記・編集はできないため、十分に確認の上、提出すること

合計

最低単位数	26
申請単位数合計	28

印刷する

申請状況詳細へ戻る

⚠ 注意

印刷する ボタンはスマートフォンには非対応

提出が完了すると画面下部に 印刷する と表示されるため、印刷を行い（白黒可）、郵送審査書類「SR-1」として送付する

STEP 5へ進む

STEP 5

▶ 審査料の振込

- 期日までに必ず審査料を振り込むこと
- 振込口座番号は申請者ごとに異なるため、他の申請者の口座に振り込まないように注意する

- 1) 審査料（書類審査・筆記試験）：51,700 円（税込）※振込手数料は申請者が負担
- 2) 振込先：以下のいずれかの方法により、確認する
 - (1) 審査申請時に登録メールアドレスに送信された『審査申請受理/振込口座の案内』のメール
 - (2) 『資格認定制度 審査申請システム』
ログイン→<申請状況一覧画面>の 専門看護師 をクリック→<申請状況詳細画面>に表示される「審査料」

⚠ 注意

- 振込名義は申請者の氏名（カタカナ）とし、施設名での振込はしないこと
- 振込明細票等の提出は不要（自身で保管すること）。なお、振込明細票は税法上正式な領収書として利用できる
- 既納の審査料はいかなる理由があっても返還しない

STEP 6 へ進む

STEP 6（郵送）

▶ 審査書類様式の入手

本会公式ホームページ〔看護職の皆さまへ〕〔資格認定制度〕〔資格認定を目指す方へ〕〔専門看護師〕のページにアクセスし、認定審査 審査書類様式をダウンロードする

URL： <https://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/vision/cns/index.html>

【郵便での提出物一覧】

書類番号	指定様式	審査書類名	新規 受験者	受験資格 審査合格者	再受験区分※1
					①
SC-0-1	あり	認定審査 審査書類 確認用紙 (新規受験者用)	○	—	—
SC-0-2	あり	認定審査 審査書類 確認用紙 (再受験区分①②の該当者、過去の 受験資格審査合格者用)	—	○	○
SR-1	システム から出力	履修単位自己申告書 (『資格認定制度 審査申請システム』 で作成し、出力したもの)	コース外 修了者のみ	—	コース外 修了者のみ
SC-1	なし	修士課程の修了証書の写し	○	—	○
SC-2	あり	専門看護師教育課程基準単位取得 証明書 (コース内修了者)	コース内 修了者のみ	—	コース内 修了者のみ
	なし	修士課程の履修単位証明書または 成績証明書等 (コース外修了者)	コース外 修了者のみ		コース外 修了者のみ
SC-3-1a※2	なし	教育機関が作成した履修当時のシ ラバスの写し	コース外 修了者のみ	—	コース外 修了者のみ
SC-3-1b※2	なし	教育プログラムに関する添付資料	コース外 修了者のみ	—	コース外 修了者のみ
SC-3-1c※2	なし	実習要項及び実習記録	コース外 修了者のみ	—	コース外 修了者のみ
SC-4-1	あり	勤務証明書	○	○	○
SC-4-2	あり	非常勤勤務証明書	該当者のみ	該当者のみ	該当者のみ
SC-5	なし	改姓を証明する書類 (該当者のみ)	該当者のみ	該当者のみ	該当者のみ

※1 再受験区分②のうち該当者は勤務証明書を郵送で提出

再受験区分③④の該当者は申請書類 (郵送) の提出物は不要

再受験については 39 ページを参照

※2 大学院修士課程において、専門看護師教育課程に相当する科目・単位を履修したことを確認できる書類



▶ 審査書類の作成

- **審査書類の内容に不備があった場合、不合格となるため、十分に留意して作成すること**
- 審査書類は A4 サイズとし、自筆またはパソコンで記載すること
- 年月の記載は全て西暦を使用すること
- 各書類の申請 ID の記載欄には、『資格認定制度 審査申請システム』の＜申請状況一覧画面＞に表示される申請 ID を記載すること
- 指定様式のない書類には、書類の右上に申請 ID を記載すること
- 訂正箇所は二重線を引き、訂正印を押すこと。修正テープや修正インクは使用しない
- 用紙が足りない場合には、指定の様式に従って追加分を作成し使用すること
- 認定審査申請書類確認用紙（SC-0-1 もしくは SC-0-2）の事務局確認欄には何も記載しない
- 全ての申請書類は書類番号順に並べる

【各提出書類の記載方法・注意事項】

書類番号 *は指定様式	記載方法・注意事項
SC-0-1*	1) 申請状況一覧で申請 ID を確認し、申請 ID・分野名・システムに登録した氏名を所定の欄に記載する
SC-0-2*	2) 教育要件（4 ページ参照）について、コース内/コース外のどちらか該当する方に○を付ける 3) 書類の不備、不足がないか確認した後、枚数を記入し、本人確認欄にチェックする ※事務局確認欄には何も記載しない
SR-1*	審査書類（オンライン）提出時の画面を A4 サイズの用紙に出力し（白黒印刷可）、左上に書類番号「SR-1」と記載し提出する
SC-1	教育機関が発行した看護系大学大学院修士課程、もしくは関連領域の大学院修士課程を修了していることを証明するものを、A4 サイズの用紙に出力し、左上に書類番号「SC-1」と記載し提出する ※修了証明書も可。ただし、修了証明書の場合、原本を提出すること。左上に書類番号「SC-1」と記載する

書類番号 *は指定様式	記載方法・注意事項
SC-2 (コース内は指定様式あり)	【コース内修了者】 申請する分野の指定様式を用いて、教育機関が発行した原本を提出すること。 書類の右上に申請 ID と氏名を記載する ※大学院修士課程において、専門看護師教育課程の所定の単位（38 単位以上）を取得していることを証明するものであること ※申請する単位の全て（38 単位以上）について、科目名、取得単位数、取得年度が明記されていることを確認する ※各専門看護分野の専攻分野共通科目、専攻分野専門科目、実習科目、CNS 共通科目の必要な単位数を満たしていることを確認する 【コース外修了者】 教育機関が発行した原本を提出すること。書類の左上に書類番号「SC-2」を記載し、右上に申請 ID を記載する ※大学院修士課程において、専門看護師教育課程に相当する科目・所定の単位（38 単位以上）を取得していることを証明するものであること ※申請する単位の全て（38 単位以上）について、科目名、取得単位数、取得年度が明記されていること
SC-3-1a	1) SR-1 で自己申告した科目のうち、教育要件のコース外に該当する履修科目について、教育要件のコース内と同様の内容であることが確認できるよう、履修当時のシラバスのコピーを提出する ※シラバスのコピーを提出する際には、自身の履修当時のものであることが確認できるよう教育課程名、年度、ページ番号が記載されているもの（表紙や目次等）をあわせて提出すること ※履修時に教育要件のコース外であった科目が、申請時において教育要件のコース内に該当する科目として認定されている場合は、認定された年度のシラバスのコピーを提出する。シラバスのコピーを提出する際には、認定された年度のものであることが確認できるよう教育課程名、年度、ページ番号が記載されているもの（表紙や目次等）をあわせて提出すること 2) A4 サイズの用紙に出力し、左上に書類番号「SC-3-1a」と記載する
SC-3-1b	SC-3-1a のシラバスに示される内容が専門看護師教育課程基準の内容に相当することを示すために、履修時の講義資料等を A4 サイズの用紙に出力し、左上に書類番号「SC-3-1 b」と記載し提出する

書類番号 *は指定様式	記載方法・注意事項
SC-3-1c	1) SR-1 で自己申告した科目のうち、教育要件のコース外に該当する実習科目について、教育要件のコース内と同様の内容であることが確認できるよう、実習要項及び実習期間、内容等を具体的に記載した実習記録を提出する ※実習要項を提出する際には、自身の履修当時のものであることが確認できるよう教育課程名、年度、ページ番号が記載されているもの（表紙及び目次等）をあわせて提出すること ※履修時に教育要件のコース外であった科目が、申請時において教育要件のコース内に該当する科目として認定されている場合は、認定された年度の実習要項のコピーをあわせて提出する。実習要項のコピーを提出する際は、認定された年度のものであることが確認できるよう教育課程名、年度、ページ番号が記載されているもの（表紙や目次等）をあわせて提出すること 2) A4 サイズの用紙に出力し、左上に書類番号「SC-3-1c」と記載する ※記録内の申請者名や患者等の個人情報に関するものは塗りつぶす等、個人情報保護に配慮すること
SC-4-1*	1) 受験資格を満たしていることを証明するため、以下について全て確認できる勤務証明を得ること ・ 看護師の資格取得後、通算 5 年以上実務研修をしている ・ 上記 5 年のうち、通算 3 年以上は専門看護分野の実務研修をしている 2) 証明者は、所属施設の責任者（所属施設長、看護部長等）であること。本人が責任者である場合は、申請者と社会的に対等または上位に位置する者の証明を得ること。その場合は、証明者の所属や職位を証明する文書（自由書式）を提出する 3) 所属（病棟・部門等）は、専門看護分野で実務研修をしていることがわかるように、42 ページの「専門看護分野の実務研修におけるフィールド」を参照し、記載する。3 東や 5 E 等の病棟名ではなく、診療科名及び対象者や看護ケアの特徴等を具体的に記載する ※大学院等（専門看護師教育課程・認定看護師教育課程を含む）における教員としての勤務期間は、実務研修期間として認めない ※外国における勤務については、指定様式（SC-4-1）と同様の内容を記載した書類をその国の言語で作成し、英語以外の言語の場合には和訳とともに提出すること

書類番号 *は指定様式	記載方法・注意事項
SC-4-2*	1) 非常勤の場合、「実質勤務時間 150 時間」を「1 カ月」相当として勤務月数を算出し、実務研修期間（月数）の証明を得る 2) 証明者は、所属施設の責任者（所属施設長、看護部長等）であること 3) 所属（病棟・部門等）は、42 ページの「専門看護分野の実務研修におけるフィールド」を参照し、診療科名及び対象者や看護ケアの特徴等を具体的に記載する ※大学院等（専門看護師教育課程・認定看護師教育課程を含む）における教員としての勤務期間は、実務研修期間として認めない
SC-5	1) 改姓により、各種審査書類と姓が異なる場合のみ提出 （例）・申請者名と各種審査書類に記載の氏名が異なる ・各種証明書類に旧姓と新姓が混在する ・再受験申請者、前年度筆記試験欠席者、受験資格審査合格者で、前回申請時から改姓した 2) 改姓前及び改姓後の姓名が確認できる証明書類（戸籍抄本、運転免許証〈表面と裏面〉のコピー、パスポート等のコピー）を提出する場合は、A4 サイズの用紙にコピーする 3) 左上に書類番号「SC-5」と記載する



▶ 郵送

【書類送付表の印刷】

『資格認定制度 審査申請システム』にログイン→申請状況一覧→専門看護師をクリック→<申請状況詳細画面>上部の書類送付表出力をクリックする

申請状況詳細

年度 申請区分: 認定

専門看護師 []

申請ID:

書類送付表出力

クリック



171-0014
東京都豊島区池袋 2-65-18 WEST ビル 2F
CNS 認定審査 審査書類受付係 御中

CNS(専門看護師) 審査書類在中

書類送付表を印刷する

⚠ 注意

システム画面上に印刷ボタンは表示されないため、画面上で右クリックをし、表示されるボタン一覧にある「印刷」をクリック、プレビュー画面の表示を確認し、印刷をする

●申請ID	
●氏名	
●受験資格要件	

申請 ID と氏名は自動で表示されるため、誤りがないか確認する

【審査書類の送付】

- 提出期間外の消印がある書類は受理しない
- 送付方法に不備がある場合は、不合格となる
- 送付前に郵便料金が不足していないか確認すること。不足時は受理できない
- 配達記録が残る方法（簡易書留や特定記録郵便等）にて送付すること

⚠ 注意

- A4 サイズの審査書類（郵送）が折らずに入る封筒等を選び、書類送付表を貼る
- 封筒には自身の住所を記載する
- 書類の持参や上記以外の方法で送付した場合、受け付けない
- 提出された書類はいかなる理由があっても返却しない
- 書類受理についての問い合わせは受け付けない
- 一度提出された書類の差し替え・追加は受け付けない

2-4 申請を取下げの場合

申請期間内に限り、申請の取下げを受け付ける

申請を取下げの場合は、認定部宛（cns@nurse.or.jp）にメールを送信すること

メール送信の際は、下記の内容を記載すること

- メール件名：CNS 認定審査申請取下げについて
- メール内容：氏名、申請 ID、理由

⚠ 注意

申請期間終了後は、いかなる理由があっても申請の取下げは受け付けない

3. 書類審査合否の確認と受験票の印刷

3-1 日程

日程は 6 ページを参照

3-2 書類審査合否の確認

- 1) 合否の発表日時以降、『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）にアクセス
URL：https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx
- 2) ユーザーID、パスワードを入力しログイン

The screenshot shows the '申請メニュー' (Application Menu) with three options: '申請メニュー' (Application Menu), '申請状況一覧' (Application Status Overview), and '保有する認定資格の確認、及び公開情報の更新が行えます。' (Check the qualifications you hold and update the public information). The '申請状況一覧' option is highlighted with a red box and a callout 'クリック' (Click). An arrow points down to the '申請状況一覧' page. The page title is '申請状況一覧'. Below the title, it says '認定資格名をクリックすると、詳細画面に遷移します。' (Click the certification name to move to the detailed screen) and 'オンライン申請書類の作成/編集、受験票の印刷など、各種操作は詳細画面より行ってください。' (Online application form creation/editing, exam ticket printing, etc., various operations should be performed from the detailed screen). Under the heading '現在の申請状況' (Current application status), there is a table with a header '申請区分：認定' (Application category: Certification) and a row '専門看護師 []'. The '専門看護師 []' text is highlighted with a red box, and a callout 'クリック→<申請状況詳細画面>を開く' (Click → Open the application status detail screen) points to it.

- 3) 申請状況詳細に表示される当該申請の「書類審査合否」を確認する
- 4) 合格の場合は受験票をダウンロード・印刷する

不合格の場合は筆記試験を受けることができない

3-3 受験票の印刷

<申請状況詳細画面>

筆記試験

試験会場	会場
試験日	年 月
受験票	印刷画面を表示する

クリック→ポップアップウィンドウで受験票が表示される

(画面例)

年度 認定審査
受験票

申請年度	資格区分	分野	申請ID
フリガナ	本人署名※		
氏名			
生年月日	※署名欄には適型で署名をお願いします。本人の署名をもって、審査合格後の認定登録の意思確認とします。		
有資格免許番号	※この受験票は筆記試験中に回収し適切に管理いたします。		
筆記試験日	開場時間	集合時間	
試験会場			
試験会場住所			



受験票に記載されている内容（本人氏名、試験会場等）を確認し、画面最下部の **印刷** をクリックし、印刷する

⚠ 注意

- ブラウザのポップアップブロックの設定が有効（ポップアップウィンドウをブロックしている）の場合、受験票画面は表示されない。ポップアップブロックの設定解除については、『資格認定制度 審査申請システム』画面下の「よくある質問」の「審査申請について」の Q4 を参照する
- A4 サイズの用紙に縦向きに印刷すること（白黒可）
- **印刷** ボタンはスマートフォンは非対応

3-4 受験準備

- 1) 印刷した受験票の「本人署名欄」への署名をもって、審査合格後の認定登録及び氏名・都道府県名公表の意思確認とする。直筆で署名すること
- 2) 筆記試験では、CNS の 6 つの役割（実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究）について、受験者がその役割を適切に理解し、果たすことができる能力を備えているかを解答（記述）した内容から確認する。また、社会背景や専門看護分野の動向を踏まえたもの、自施設の課題をもとに記述を求めるもの等が出題されるため、これらを踏まえて、各自受験の準備をすることを推奨する

【過去問題の確認（37 ページ参照）】

認定審査に申請後、前年の審査問題について『資格認定制度 審査申請システム』からダウンロードする。どのような問題が出題されていたのかを確認すること

また、教育機関（CNS 教育課程）でも、前年の審査問題を公表している

審査申請前でも、自身が修了した教育機関から過去問題を入手することもできる

【実務研修内容や事例のまとめ】

理論・概念を踏まえて、自身が行った実践のプロセスを記述できるように実務研修内容や事例をまとめておくことを推奨する

また、自身が行った看護実践に対するアセスメント、対応を必要とした問題や課題を具体的に記述できるよう準備を進めること

【参考図書】

43 ページの「参考図書」で、コンサルテーション（相談）や倫理調整についての参考図書を紹介している。役割の理解や自身が行った事例をまとめる際に利用することもできる

4. 筆記試験

4-1 日程

日程は 6 ページを参照

4-2 会場

申請時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている自宅住所（47 都道府県）の会場での受験となる

注意

- 試験会場の住所・施設名等は受験票に記載。会場周辺地図は受験票にある QR コードを読み込むことで確認できる
- 試験に関する問い合わせや当日の緊急連絡先は認定部（03-5778-8554）まで。試験会場への連絡は行わないこと

4-3 方法

時間

120 分

出題方式

問題 1. 事例問題（論述式）……配点 100 点

問題 2. 総合問題……………配点 100 点

4-4 出題範囲

専門看護師教育課程の全科目

一般社団法人 看護系大学協議会の公式ホームページ

「2024 年度版 高度実践看護師教育課程基準 高度実践看護師教育課程審査要項」参照

URL： <https://www.janpu.or.jp/activities/committee/point/file/cns.pdf>

4-5 当日の持ち物

受験票	受験番号、本人氏名、試験会場情報が正しく記載されているか確認し、記載に誤りがある場合には速やかに認定部に連絡すること ※「本人署名欄」に直筆で署名する ※署名をもって審査合格後の認定登録及び氏名・都道府県名公表の意思確認とする
本人確認書類	顔写真付きの本人確認書類（運転免許証、有効なパスポート、写真付き社員証、マイナンバーカード等） ※試験会場で「受験票」と「顔写真付きの本人確認書類」を照合することで本人確認を行う
時計	試験会場に時計の用意はないので、時計を持参すること ※時計は、腕時計、懐中時計等を指す（時計機能のみのもの。アラーム機能が解除でき、秒針等の音が周囲に聞こえないもの）。通信・計算・辞書機能付きのもの及び携帯電話は使用不可
筆記用具	記入用の HB または B の鉛筆、シャープペンシル、消しゴム ※ボールペンは記入が正しく読み取れないため使用不可。試験会場での筆記用具の貸与等を行わない

4-6 受験の注意事項

- 1) 試験開始後の会場への入室は認められない。遅刻厳禁
- 2) 会場内への大きな手荷物の持ち込みはできない（椅子の下、足元に納まる程度まで）
- 3) 机上に置くことができるのは受験票、時計及び筆記用具のみ。下敷きや定規は使用できない
- 4) 試験開始後、一度退室したら再入室できない

4-7 合格基準

筆記試験は 200 点満点とし、A～C の三段階で評価する

A 評価、B 評価は合格、C 評価は不合格とする

A：80%以上（160 点以上） B：70～79%（140～159 点） C：70%未満（140 点未満）

4-8 筆記試験を欠席する場合

書類審査合格者がやむを得ない理由により試験を欠席する場合、下記の手続きにより、翌年度の認定審査 1 回に限り、審査料を免除の上、認定審査を受験することができる

なお、手続きを行わなかった場合、翌年度の審査料は免除されない

【手続きの方法】

- 1) 欠席する旨を筆記試験日当日（10 月 8 日〔水〕）の試験開始 30 分前までに、認定部（03-5778-8554）まで電話で連絡する
- 2) 電話連絡後、10 月 15 日（水）までに、認定部（専門看護師担当）にメールで欠席の連絡をすること。メールアドレスは 1) の電話連絡の際に伝える。メールには、氏名・分野名・申請 ID・会場を記載する
- 3) メールでの欠席の連絡の受理後、数日以内に認定部から欠席手続き完了のメールを送信するので、内容を確認する

⚠ 注意

欠席手続き完了のメールが届かない場合は、再度認定部にメールをすること

- 4) 翌年の申請の際は、『専門看護師（CNS）認定審査 審査・申請の手引き』を参照し、審査申請を行う

5. 審査合否の確認と認定料の振込

5-1 日程

日程は 6 ページを参照

5-2 審査合否の確認

- 1) 合否の発表日時以降に『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）にアクセス
URL : <https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx>
- 2) ユーザーID、パスワードを入力しログイン

< 不合格の場合 >

- 入金情報は表示されない
- 点数及び評価が表示される（不合格理由は開示していないため表示されない）

<合格の場合>

認定料	
お支払金額	円
お支払期限	
振込先	銀行名： 口座番号： 口座名義： ※ATM等で文字数の制約上、途中でしか表示されないことがあります。 ※振込時、振込人にご自身の氏名をカタカナで入力してください。

入金情報を確認する

可否結果	
書類審査：合格	
教育要件：	合格 確認
実務研修要件：	合格
審査可否：合格	
筆記試験	出欠：出席 合計点（事例問題、総合問題）：- 評価：-

点数及び評価は表示されない

【合格者の公表について】

全ての合格者（新規認定者）の氏名及び所属都道府県名を本会公式ホームページで公表する。
公表期間は可否開示の3週間後～1カ月間

5-3 認定料の振込

- 認定料の振込がない場合は登録手続き及び認定証発行ができないため、期日（6ページを参照）を厳守すること
- 振込口座番号は申請者ごとに異なるため、他の申請者の口座に振り込まないように注意する

1) 認定登録料：51,700 円（税込）※振込手数料は申請者負担

2) 振込先：審査料の振込口座と同じ。以下のいずれかの方法により確認する

- (1) 審査申請時に登録メールアドレスに送信された『審査申請受理/振込口座の案内』のメール
- (2) 『資格認定制度 審査申請システム』

ログイン→<申請状況一覧画面>の **専門看護師** をクリック→<申請状況詳細画面>に表示される「認定料」

⚠ 注意

- 振込名義は申請者の氏名（カタカナ）とし、施設名での振込はしないこと
- 振込明細票等の提出は不要（自身で保管すること）。なお、振込明細票は税法上正式な領収書として利用できる
- 既納の認定料はいかなる理由があっても返還しない

6. 登録内容の確認と情報公開の設定

6-1 登録内容の確認

認定登録手続き完了後、認定部から全認定者にメールで連絡する。認定部からの通知メールを受信後、『資格認定制度 審査申請システム』にログイン

The screenshot shows the '認定資格一覧' (Certification Qualification List) page. At the top, there is a navigation bar with three items: '申請メニュー' (Application Menu), '申請状況一覧' (Application Status List), and '認定資格一覧' (Certification Qualification List). The '認定資格一覧' item is highlighted with a red box and a callout 'クリック' (Click). Below the navigation bar, the '認定資格一覧' page is displayed. It has a title '認定資格一覧' and a search bar with the text '専門看護師 []'. Below the search bar, there is a table with the following columns: '認定登録番号', '有効年月日', '移行年月日', '氏名 公開/非公開', '認定年月日', '更新年月日', '施設名 公開/非公開'. The table contains one row of data. The '有効年月日' column has the value '年12月31日'. The '認定年月日' column has the value '年 月 日'. The '更新年月日' column is empty. The '氏名 公開/非公開' column has the value '非公開' and a button '変更する' (Change). The '施設名 公開/非公開' column has the value '非公開' and a button '変更する' (Change). There are several callouts with red boxes and arrows pointing to specific elements: '認定申請した資格が表示されていることを確認する' (Confirm that the qualification applied for is displayed) points to the search bar. '認定申請した資格の有効年月日が「当年+5年12月31日」であることを確認する' (Confirm that the validity period of the qualification applied for is 'this year + 5 years 12/31') points to the '有効年月日' column. '認定申請した資格の認定年月日が当年であることを確認する' (Confirm that the certification date of the qualification applied for is this year) points to the '認定年月日' column. '氏名・施設名の公開/非公開の設定は 変更する をクリック' (Set the public/non-public status of the name and facility name by clicking 'Change') points to the '変更する' buttons in the '氏名' and '施設名' columns.

申請メニュー
認定看護師、認定看護管理者、及び専門看護師の各種申請が行えます。

申請状況一覧
各種申請状況の照会とオンライン書類の登録・提出ができます。

認定資格一覧
保有する認定資格の確認、及び公開許諾の更新が行えます。

クリック

認定資格一覧

専門看護師 []

認定登録番号

有効年月日
年12月31日

移行年月日
-

氏名 公開/非公開
非公開 変更する

認定年月日
年 月 日

更新年月日

施設名 公開/非公開
非公開 変更する

認定申請した資格が表示されていることを確認する

認定申請した資格の有効年月日が「当年+5年12月31日」であることを確認する

認定申請した資格の認定年月日が当年であることを確認する

氏名・施設名の公開/非公開の設定は 変更する をクリック

6-2 情報公開の設定

- 1) 認定登録情報（氏名及び所属施設名）を本会公式ホームページ上で公開することの可否を設定する。設定しない場合、情報は公開されない
- 2) メインメニューの「認定資格一覧」をクリック→＜認定情報公開許諾更新画面＞を開く

認定情報公開許諾更新

☒ 入力
 ☐ 確認
 ☐ 完了

日本看護協会公式ホームページにおける情報公開について

日本看護協会公式ホームページでは、認定者の氏名、所属施設、修了した特定行為区分（認定看護師のみ）の情報公開を行っております。情報を公開することにより、所属施設または認定者へのお問い合わせ等が増加すること考えられます。所属施設名の公開については、ご自身で所属施設の許諾を得たうえで入力してください。

また、以下についてご了承の上、公開・非公開の入力をお願いいたします。

所属施設を公開設定し、個人情報編集画面より離職中を設定した場合、分野別都道府県別登録者検索や統計等にはご自宅の都道府県で表示/集計がされます。

所属施設を非公開設定した場合、分野別都道府県別登録者検索の都道府県を指定した検索では氏名の表示がされません。

表示されている注意を確認する

専門看護師 []

認定登録番号		認定年月日	年: 月 日
有効年月日	年12月31日	更新年月日	-
移行年月日	-		
氏名 公開/非公開	非公開	施設名 公開/非公開	非公開

氏名・施設名の公開/非公開について設定する

確認画面へ

一覧画面へ戻る

確認画面へ をクリック→
＜認定情報公開許諾更新確認画面＞にて 更新 をクリック

参考

『資格認定制度 審査申請システム』で公開設定にした場合、本会公式ホームページでは、認定登録者の情報は下記のように公開される

資格区分*

課程区分

施設所在都道府県

※離職中の方は、自宅所在都道府県となります。

施設設置主体名

所属先施設名

氏名(漢字)

○認定看護師 ○認定看護管理者 ●専門看護師

全て

全て

全て

※部分一致

※部分一致

※部分一致

分野

がん看護

施設種別

全て

施設法人名

※部分一致

名

※部分一致

検索

[最初] [前] 1 2 3 4 5 6 [次] [最後] 1~50件目/1036件

分野	都道府県	氏名	施設法人名	所属先施設名	修了した特定行為区分
がん看護	北海道	看護 花子	A法人	ABC病院	-
がん看護	北海道	〇〇 〇〇	-	-	-
がん看護	北海道	〇〇 〇〇	B法人	D病院	-
がん看護	北海道	〇〇 〇〇	C法人	EF総合病院	-
がん看護	北海道	〇〇 〇〇	医療法人	G総合病院	-
がん看護	北海道	〇〇 〇〇	D法人	H医療センター	-

7. 認定証等の発行及び受領

7-1 認定証の発行

認定証及び認定証カードは、2025 年 12 月 25 日時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている氏名で発行し、同システムの画面に表示される文字の字形にて作成する

7-2 認定証の受領

- 認定登録の手続き完了後、認定証及び認定証カード、専門看護師徽章が交付される
- 上記 3 点は、2025 年 12 月 25 日時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている住所に送付する。審査申請時から住所・氏名に変更が生じた場合、12 月 24 日までに同システムの「個人情報編集」にて情報を更新すること
- 上記 3 点が届き次第、内容を確認すること

8. その他の事項

8-1 審査に関する情報開示

過去問題の開示

- 期間：6 ページを参照
- 対象：第 35 回専門看護師（CNS）認定審査申請者
- 内容：前年度の認定審査の筆記試験問題

※前年度の申請者がおらず筆記試験がなかった分野は、直近の筆記試験問題を開示する

【閲覧方法】

- 1) 期間内に、『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）にアクセス
URL：https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx
- 2) ユーザーID、パスワードを入力しログイン



当該年度審査問題の開示

- 対象：第 35 回専門看護師（CNS）認定審査申請者
- 内容：当該年度認定審査の筆記試験問題
- 方法：合否発表から 3 週間後に、『資格認定制度 審査申請システム』の「認定審査に申請された方へお知らせ」から閲覧・ダウンロード

注意

認定審査申請者へ開示後、専門看護師教育機関にも『教育機関システム』内に次年度筆記試験前日まで開示する

個人の審査評価の開示

- 対象：第 35 回専門看護師（CNS）認定審査不合格者
- 内容：個人の審査評価、得点及び不合格理由
- 方法：『資格認定制度 審査申請システム』上で開示

8-2 個人情報保護方針

「公益社団法人日本看護協会 個人情報保護方針」に準ずる

URL： <https://www.nurse.or.jp/privacy/>

注意

- 『資格認定制度 審査申請システム』に登録した情報に基づき、専門看護師認定審査に関わる重要な通知及び認定登録後の活動状況に関する調査の依頼を行うことがある
- 登録した情報のうち、職位・所属部署等の処遇に関する情報や病床規模等の所属施設に関する情報は、認定登録後の活動状況を分析・検討するための基礎資料として活用することがある

9. 再受験

9-1 再受験とは

再受験とは、過去に一度でも専門看護師（CNS）認定審査の申請をしたことがある受験者が、再度申請すること。ただし、2023 年度以前に、26 単位で専門看護師認定審査を受験し不合格だった者が、12 単位の追加履修をした上で、2024 年度以降の認定審査の申請をする場合、「再受験」には該当せず「新規受験」の扱いとなる

※再受験であっても、オンラインでの申請は必要

※必要な提出物と審査料は再受験区分により異なるため、以下を確認し申請すること

9-2 再受験区分及び必要な提出物・審査料

過去の認定審査の申請・審査結果に基づき、以下の表で該当する再受験区分を確認すること

書類審査の「教育要件」・「実務研修要件」が不合格であった	再受験区分① 再受験	審査料	51,700 円（税込）
		オンラインでの提出物	• 履歴書 • 履修単位自己申告書
		郵送での提出物	• 認定審査 審査書類 確認用紙（再受験者用） • 履修単位自己申告書（『資格認定制度 審査申請システム』で出力したもの）（コース外） • 修士課程の修了証の写し • 専門看護師教育課程基準単位取得証明書（コース内） • 修士課程の履修単位証明書または成績証明書等（コース外） • 教育機関が作成した履修当時のシラバスの写し（コース外） • 教育プログラムに関する添付資料（コース外） • 実習要項及び実習記録（コース外） • 勤務証明書

書類審査の「教育要件」は不合格、「実務研修要件」が合格であった	再受験区分① 再受験	審査料	51,700 円（税込）
		オンラインでの提出物	- 履歴書 - 履修単位自己申告書
		郵送での提出物	- 認定審査 審査書類 確認用紙（再受験者用） - 履修単位自己申告書（『資格認定制度 審査申請システム』で出力したもの）（コース外） - 修士課程の修了証の写し - 専門看護師教育課程基準単位取得証明書（コース内） - 修士課程の履修単位証明書または成績証明書等（コース外） - 教育機関が作成した履修当時のシラバスの写し（コース外） - 教育プログラムに関する添付資料（コース外） - 実習要項及び実習記録（コース外）

書類審査の「教育要件」は合格、「実務研修要件」が不合格であった	再受験区分② 受験要件一部免除再受験	審査料	51,700 円（税込）
		オンラインでの提出物	履歴書
		郵送での提出物	勤務証明書（該当者※のみ） ※実務研修要件のうち、看護師免許を取得後、通算 5 年以上の実務研修をしていること。そのうち通算 3 年以上は専門看護分野の実務研修をしていることが確認できなかった者

2024 年度「③書類審査免除再受験」及び「④前年度欠席再受験」で受験し、筆記試験が不合格であった 2023 年以前に受験し、筆記試験が不合格であった		再受験区分② 受験要件一部免除再受験	審査料	51,700 円（税込）
			オンラインでの提出物	履歴書
			郵送での提出物	×
2024 年度初めて認定審査を受験し、筆記試験に不合格であった 2024 年度「②受験要件一部免除再受験」で受験したが、筆記試験が不合格であった		再受験区分③ 書類審査免除再受験	審査料	30,800 円（税込）
			オンラインでの提出物	×
			郵送での提出物	×
2024 年度筆記試験を欠席し、欠席手続きが完了している ※提出物はないが審査申請は必要		再受験区分④ 前年度欠席再受験	審査料	×
			オンラインでの提出物	×
			郵送での提出物	×

10. 専門看護分野の実務研修におけるフィールド

分野	内容
がん看護	業務の半分以上をがん看護に費やしていること
精神看護	精神科病院・一般病院の精神科病棟・精神科病院の外来・精神科クリニック・精神科デイケア・訪問看護ステーション・地域活動支援センター等での、精神看護の実務研修。ただし、リエゾン精神看護を志望する場合は病院での精神看護の実務研修とするが、精神科病院・一般病院の精神科病棟である必要はない。その場合、履歴書及び勤務証明書に、リエゾン精神看護の実績の内容について具体的に明記すること
地域看護	地域看護（行政看護、在宅看護、産業看護、学校看護）のうちのいずれかにおいて看護の役割機能を果たす実務研修とする。所属する機関や施設種別を問わない
老人看護	高齢者に対する老人看護の実務研修
小児看護	健康問題を持つ子供に対する小児看護の実務研修
母性看護	1、2 いずれかに関する母性看護の実務研修 1. 周産期母子援助専攻：妊産褥婦に対する母性看護の実務研修 2. 女性の健康への援助専攻：女性の健康に関する母性看護の実務研修
慢性疾患看護	慢性病の経過をたどる成人に対する慢性看護の実務研修。病院（病棟・外来）、その他施設、地域、在宅等とする
急性・重症患者看護	クリティカルケアを要する患者が50%以上を占めている病棟等でのクリティカルケア看護の実務研修。1年以上は成人領域とする
感染症看護	1 及び 2 に関する感染症看護の実務研修 1. 医療施設等における感染管理活動 2. 複雑で困難な問題を有する感染症患者や易感染患者に対する看護
家族支援	患者を含む家族を対象として研修できる病棟、外来、その他施設、地域、在宅等とする
在宅看護	在宅看護に関する実務研修。所属する機関や施設種別を問わない
遺伝看護	遺伝学的課題を抱えた、もしくはその可能性のある個人、家族、集団に対する遺伝看護の実務研修
災害看護	災害急性期から中長期、備えの時期における個人、家族、集団に対する災害看護の実務研修
放射線看護	放射線による健康課題を有する、もしくはその可能性がある個人、家族、集団、地域における放射線看護の実務研修

11. 専門看護分野における実務研修内容

- 1) 専門看護分野における、個人、家族及び集団に対する直接的な看護実践
- 2) 専門看護分野における、看護者を含むケア提供者に対するコンサルテーション
- 3) 専門看護分野における、必要なケアが円滑に行われるための、保健医療福祉に携わる人々の間のコーディネーション
- 4) 専門看護分野における、個人、家族及び集団の権利を守るための、倫理的な問題や葛藤の解決を図る倫理調整
- 5) 専門看護分野における、ケアを向上させるための、看護者に対する研修会、研究指導及び講演会等での活動を含む多様な教育的機能
- 6) 専門看護分野において、専門知識及び技術の向上並びに開発を図るための実践の場における研究活動

12. 参考図書

12-1 総合

分野	参考図書
がん看護	- 井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015. - 日本がん看護学会教育・研究活動委員会コアカリキュラムワーキンググループ. がん看護コアカリキュラム日本版. 医学書院, 2017. - 大西和子, 飯野京子, 平松玉江編集. がん看護学. ノーヴェルヒロカワ, 2018. - Mary Fran Tracy et al. 高度実践看護 統合的アプローチ. 第2版. 中村美鈴, 江川幸二監訳, へるす出版, 2020.
地域看護 在宅看護	- 井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015. - 日本専門看護師協議会 地域看護・在宅看護分野. 地域包括ケアシステムの構築に「看護」はどう関わるか. コミュニティケア, 6月臨時増刊号, 2018.
老人看護 急性・重症患者看護	井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015.
母性看護	- 井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015. - 日本母性看護学会高度実践看護師育成支援委員会. 現場が変わる!チームに働きかける母性看護CNSの実践(第1~12回)電子版. 助産雑誌, 電子別冊, 2021.
慢性疾患看護	- Pierre Woog. 慢性疾患の病みの軌跡: コービンとストラウスによる看護モデル. 黒江ゆり子訳, 医学書院, 1995. - Strauss AL. 慢性疾患を生きる: ケアとクオリティ・ライフの接点. 南裕子監訳, 医学書院, 1984. - アイリーン・モロフ・ラブキン&パメラDラーセン. クロニックイルネス: 人と病いの新たなかわり. 黒江ゆり子監訳, 医学書院, 2007. - 井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015.
感染症看護	Hersey P, Blanchard KH, Johnson DE. 入門から応用へ行動科学の展開: 人的資源の活用. 新版. 山本成二, 山本あづさ訳, 生産性出版, 2000.

家族支援	- 鈴木和子, 渡辺裕子, 佐藤律子. 家族看護学 理論と実践. 第5版. 日本看護協会出版会, 2019. - 森山美知子編集. ファミリーナーシングプラクティス: 家族看護の理論と実践. 医学書院, 2001. - 野嶋佐由美監修, 中野綾美編集. 家族エンパワーメントをもたらす看護実践. へるす出版, 2005. - McDaniel SM, Campbell TL, Hepworth J, Lorenz A. 家族志向のプライマリケア. 松下明監訳, 丸善出版, 2012. - クララ E. ヒル. ヘルピング・スキル: 探求・洞察・行動のためのこころの援助法. 第2版. 藤生英行監訳, 金子書房, 2014.
災害看護	- 井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015. - スティーブン P. ロビンス. 組織行動のマネジメント: 入門から実践へ. 新版. ダイヤモンド社, 2021.
遺伝看護	- 有森直子, 溝口満子編集. 遺伝/ゲノム看護. 医歯薬出版, 2018. - 中込さと子監修. 基礎から学ぶ遺伝看護学. 羊土社, 2019. - 日本医学会. 医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン. 2022. http://jams.med.or.jp/guideline/genetics-diagnosis_2022.pdf
放射線看護	- 井部俊子, 大生定義監修, 専門看護師の臨床推論研究会編集. 専門看護師の思考と実践. 医学書院, 2015. - Mary Fran Tracy, Eileen O'Grady. 高度実践看護: 統合的アプローチ. 第2版. 中村美鈴, 江川幸二監訳, へるす出版, 2020.

12-2 コンサルテーション

分野	参考図書
分野共通	- Mary Fran Tracy, Eileen O'Grady. Hamric and Hanson's Advanced Practice Nursing. 6th ed. Saunders, 2018. - Mary Fran Tracy, Eileen O'Grady. 高度実践看護: 統合的アプローチ. 第2版. 中村美鈴, 江川幸二監訳, へるす出版, 2020. - Lippitt G, Lippitt R. The Consulting Process in Action. 2th ed. Pfeiffer, 1994. - 野末聖香編集. リエゾン精神看護: 患者ケアとナース支援のために. 医歯薬出版, p207-255, 2004. - 坂田三允総編集. 精神看護エクスパート (16): リエゾン精神看護. 中山書店, p120-144, 2006. - Schein EH. プロセス・コンサルテーション: 援助関係を築くこと. 稲葉元吉, 尾川丈一訳, 白桃書房, 2002. - Underwood PR. コンサルテーションの概要: コンサルタントの立場から. インターナショナルナーシングレビュー, 18 (5) ; 4-12, 1995.
がん看護	- 長谷川久巳. 看護コンサルテーションにおける「看護師・看護師関係」. Nursing Today, 19 (4) ; 46-49, 2004. - 長谷川久巳. 危機理論 (モデル) の理解と実践への適用. がん看護, 8 (5) ; 419-423, 2003. - 近藤まゆみ. “CNS の活動「相談」”. 緩和ケア. 東原正明, 近藤まゆみ編集, 医学書院, p134-139, 2000. - 戎崎恵, 横山利香, 千崎美登子. CNS への相談を活用した病棟ナースの実践報告. がん看護, 10 (2) ; 163-165, 2006. - 佐藤直子. 専門看護師制度: 理論と実践. 医学書院, 1999. - 吉田智美. オンコロジー分野のコンサルテーション. インターナショナルナーシングレビュー, 18 (5) ; 19-22, 1995.
精神看護	- 野末聖香, 宇佐美しおり, 福田紀子ほか. 精神看護専門看護師によるコンサルテーションの効果. 看護, 56 (3) ; 70-75, 2004. - 宇佐美しおり, 野末聖香編集. 精神看護スペシャリストに必要な理論と技法. 日本看護協会出版会, p268-291, 2009. - 武用百子. リエゾナーナースと考える「困りごと」にどうかかわるか. ナースツールズ, p17-124, 2011. - 平井元子. 身体疾患患者の精神看護. へるす出版, 2013. - 平井元子. リエゾン: 身体とところをつなぐかわり. 仲村書林, 2014. - 南裕子監修, 宇佐美しおり編集. 精神科看護の理論と実践. ニューヴェルヒロカワ, p168-175, 2010.

分野	参考図書
地域看護	- 山本和郎, 危機介入とコンサルテーション, ミネルヴァ書房, 2000. - コミュニティケア編集部, 地域で生きる“専門看護師・認定看護師”のワザ: 在宅・施設の“看護力”向上をめざして!, コミュニティケア, 17 (7), 2015. - 日本在宅ケア学会編集, エンド・オブ・ライフと在宅ケア (在宅ケア学, 第6巻), ワールドプランニング, 2015.
老人看護	- 金川克子, 野口美和子監修, 奥野茂代編集, 高齢者看護プラクティス: 高齢者のための高度・専門看護, 中央法規, p106-115, 2005. - パトリシア・R・アンダーウッド, 看護理論の臨床活用, 南裕子監修, 日本看護協会出版会, p190-198, p236-247, 2003. - 佐藤直子, 専門看護師制度: 理論と実践, 医学書院, 1999. - 和田奈美子ほか, 老人看護専門看護師による「コンサルテーション」活動, 老年看護学会誌, 23(1); 12-16, 2018.
母性看護	- 野末聖香, コンサルタントに必要な教育, インターナショナルナーシングレビュー, 18 (5); 27-30, 1995. - Underwood PR, 組織の変化促進者としてのコンサルタント, インターナショナルナーシングレビュー, 20 (2); 31-37, 1997.
急性・重症患者看護	Mary G McKinley, Acute and Critical Care Clinical Nurse Specialists: Synergy for Best Practices. SANDERS, 2007.
感染症看護	- 大曲貴夫, 操華子編集, 感染管理・感染症看護テキスト, 照林社, 2015. - 佐野邦明, 抗菌薬 Book & Map, 笠原敬監修, シーニュ, 2022. - 藤田烈編集, 日本環境感染学会 JHAIS 委員会監修, 感染対策のためのサーベイランスまるとサポートブック改訂版: すぐ使えるデータやフォーマットがダウンロードできる! (Infection Control 別冊), メディカ出版, 2023. - 操華子, 川上和美編集, 感染看護学, 南江堂, 2022.
災害看護	川野雅資, コンサルテーションを学ぶ, 改訂版, クオリティケア, 2017.
放射線看護	川野雅資, コンサルテーションを学ぶ, 改訂版, クオリティケア, 2017.

12-3 倫理調整

分野	参考図書
分野共通	- 赤林朗編集, 入門・医療倫理Ⅰ, 勁草書房, 2005. - 赤林朗編集, 入門・医療倫理Ⅱ, 勁草書房, 2007. - Chambliss DF, ケアの向こう側: 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾, 浅野祐子訳, 日本看護協会出版会, 2002. - Davis AJ 監修, 看護倫理 理論・実践・研究, 日本看護協会出版会, 2002. - Davis AJ ほか編集, 看護倫理を教える・学ぶ, 小西恵美子監訳, 日本看護協会出版会, 2008. - Fry ST, Johnstone MJ, 看護実践の倫理: 倫理的意思決定のためのガイド, 第3版, 片田範子, 山本あい子訳, 日本看護協会出版会, 2010. - INR 日本版編集委員会編集, 臨床で直面する倫理的諸問題: キーワードと事例から学ぶ対処法, 日本看護協会出版会, 2001. - Jonsen A, Siegler M, Winlade WJ, 臨床倫理学: 臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ, 第5版, 赤林朗, 蔵田伸雄, 児玉聡監訳, 新興医学出版社, 2006. - 木村利人, 看護に生かすバイオエシックス: よりよい倫理的判断のために, 学研, 2004. - 岡崎寿美子, 小島恭子, ケアの質を高める看護倫理: ジレンマを解決するために, 医歯薬出版, 2002. - 清水哲郎, 医療現場に臨む哲学, 勁草書房, 1997. - 清水哲郎, 医療現場に臨む哲学Ⅱ, 勁草書房, 2000. - 杉谷藤子, 川合政恵監修, 「看護者の倫理綱領」で読み解くベッドサイドの看護倫理事例 30, 日本看護協会出版会, 2007. - Thompson JE, Thompson HO, 看護倫理のための意思決定 10 のステップ, ケイコ イマイ キン, 竹内博明監訳, 山本千沙子翻訳, 日本看護協会出版会, 2004. - 鶴若麻理, 長瀬雅子編集, 看護師の倫理調整力: 専門看護師の実際に学ぶ, 日本看護協会出版会, 2018. - 日本看護協会, 看護職の倫理綱領－看護倫理, 2021. https://www.nurse.or.jp/nursing/rinri/rinri_yoko/index.html - 宮坂道夫, 医療倫理学の方法: 原則・ナラティブ・手順, 第3版, 医学書院, 2022.

がん看護	- 塩野寛, 生命倫理への招待, 南山堂, 2004. - 田村恵子, “緩和ケアにおける倫理的課題”, 緩和ケア (系統看護学講座 別巻), 恒藤暁, 内布敦子編集, 医学書院, p34-52, 2018. - 近藤まゆみ, 梅田恵編集, 日本がん看護学会監修, がん看護の日常にある倫理: 看護師が見逃さなかった 13 事例 (がん看護実践ガイド), 医学書院, 2016. - 石垣靖子, 清水哲郎編著, 臨床倫理ベーシックレッスン: 身近な事例から倫理的問題を学ぶ, 日本看護協会出版会, 2012. - 宮坂道夫, 吉田みつ子, 鈴木健太ほか, 看護倫理, 第 3 版, (系統看護学講座 別巻), 医学書院, 2024.
精神看護	- 日本看護協会, 看護職の倫理綱領－看護倫理, 2021, https://www.nurse.or.jp/nursing/rinri/rinri_yoko/index.html - 日本看護協会, 臨床倫理委員会の設置とその活用に関する指針, 2006, https://www.nurse.or.jp/nursing/rinri/ - 宇佐美しおり, 野末聖香編集, 日本専門看護師協議会監修, 精神看護スペシャリストに必要な理論と技法, 日本看護協会出版会, p307-315, 2009. - 南裕子監修, 宇佐美しおり編集, 精神科看護の理論と実践, ニューヴェルヒロカワ, p176-181, 2010.
地域看護	- Beauchamp TL, Childress JF, 生命医学倫理, 麗澤大学出版会, 2009. - 小西恵美子編集, 看護倫理よい看護・よい看護師への道しるべ, 南江堂, 2007.
老人看護	- 堂園俊彦, 看取りとケアの倫理, 緩和ケア, 17 (2) ; 124-127, 2007. - 清水哲郎, 高齢者終末期の意思決定プロセス, 老年医学, 47 (2) ; 479-442, 2009. - 日本老年医学会編集, 高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン 2012 年: 人工的水分・栄養補給の導入を中心として, 医学と看護社, 2012. - 会田薫子, 延命医療と臨床現場: 人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学, 東京大学出版会, 2011. - 日本老年医学会, 日本老年医学会の「立場表明」, 2012, http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/pdf/jgs-tachiba2012.pdf - 日本看護倫理学会臨床倫理ガイドライン検討委員会編集, 看護倫理ガイドライン, 看護の科学社, 2018. - 長谷川美智子ほか, 老人看護専門看護師による「倫理調整」活動, 老年看護学会誌, 23(1) ; 21-25, 2018.
小児看護	- Hayes LJ, Moore SC, et al, 発達障害に関する 10 の倫理的課題, 望月昭ほか翻訳, 二瓶社, 1998. - 家永登, 子どもの治療決定権: ギリッ判決とその後, 日本評論社, 2007. - 北村愛子, 看護師の倫理調整の役割と実践, 日本クリティカルケア看護学会誌, 4 (2) ; 7-10, 2008. - Forman EN, Ladd RE, 小児医療の生命倫理: ケーススタディ, 松田一郎翻訳, 診断と治療社, 1998. - 日本小児看護学会, 小児看護の日常的な臨床場面での倫理的課題に関する指針, http://jschn.umin.ac.jp/files/100610syouni_shishin.pdf - 玉井真理子, 横野恵, 永水裕子編著, 子どもの医療と生命倫理: 資料で読む, 法政大学出版局, 2009. - 田村正徳, 玉井真理子編著, 新生児医療現場の生命倫理: 「話し合いのガイドライン」をめぐって, メディカ出版, 2005. - ロバート・F・ワイヤー, 障害新生児の生命倫理: 選択的治療停止をめぐって, 高木俊一郎, 高木俊治監訳, 学苑社, 1991. - 松岡真里編集, 小児看護と看護倫理: 日常的な臨床場面での倫理的看護実践, へるす出版, 2020. - 日本小児科学会, 重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドライン, 2024 年改訂版, https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20240802_hanashiaiGL.pdf

分野	参考図書
母性看護	・浅井篤. 終末期における適切な医療を実現するために：臨床倫理コンサルテーション. 脳死・脳蘇生, 20 (2) ; 57-62, 2008. ・Bandman EL, Bandman B. ケーススタディのちと向き合う看護と倫理：受精から終末期まで. 木村利人監訳, 人間と歴史社, 2010. ・Davis AJ, et al. 看護倫理：日本文化に根ざした看護倫理とは. 前原澄子監修, 相羽利昭編集, 医学映像教育センター, 2007. ・Frith L. Ethics and Midwifery : Issues in Contemporary Practice. Butterworth Heinemann, 1998. ・Husted GL, Husted JH. 臨床実践のための看護倫理：倫理的意思決定へのアプローチ. 藤村龍子ほか訳, 医学書院, 2009. ・星野一正. インフォームドコンセント：日本に馴染む 6 つの提言. 丸善ライブラリー, 1997. ・日本看護協会. ICN 看護師の倫理綱領. https://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/document/ethics/index.html ・日本看護協会. ICM 助産師の倫理綱領. http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/pdf/icm_ethics.pdf ・黒川顯. クリティカルケアにおける倫理的問題の調整. 日本クリティカルケア看護学会誌, 4 (2) ; 11-13, 2008. ・モーリン・D・レイノーほか. 助産師の意思決定. 堀内成子監修, エルセピア・ジャパン, 2006. ・三浦靖彦, 稲葉一人. 腎代行治療導入患者への医療情報提供を考える 特殊例における医療情報提供と準備 超高齢者・がん患者の透析：医療倫理の側面から. 臨床透析, 25 (12) ; 1709-1715, 2009. ・三浦靖彦, 佐野広美, 瀬下律子. 院内倫理コンサルテーションの導入と効果：一般病院で求められる倫理委員会の機能とは. 看護管理, 17 (11) ; 978-984, 医学書院, 2007. ・宮坂道夫. 医療倫理学の方法：原則・手順・ナラティブ. 医学書院, 2005. ・森久恵, 宮本享. 脳卒中の征圧をめざして 明日の脳卒中 7 つの課題と展望 脳卒中診療と生命倫理：重症脳卒中急性期診療の倫理的問題. Medicina, 46 (11) ; 1863-1867, 2009. ・永野功. 臨床倫理委員会と倫理コンサルテーション. 医療, 62 (12) ; 662-667, 2008. ・長尾式子, 三浦靖彦. 緩和医療・終末期医療における倫理と法：倫理委員会とコンサルテーション. 緩和医療学, 11 (1) ; 40-45, 2009. ・長尾式子, 瀧本禎之, 赤林朗. 日本における病院倫理コンサルテーションの現状に関する調査. 生命倫理, 15 (1) ; 101-106, 2005. ・中澤純一, 石川進, 喜井茂雅, 小池富士子, 三瓶徹. ケアの現場における倫理の考え方. 認知症ケア事例ジャーナル, 1 (3) ; 269-287, 2008. ・仁志田博司ほか. 出生をめぐるバイオエシックス：周産期の臨床にみる「母と子のいのち」. メジカルビュー社, 1999.
慢性疾患看護	・Fry ST, Johnstone MJ. 看護実践の倫理：倫理的意思決定のためのガイド. 第3版. 片田範子, 山本あい子訳, 日本看護協会出版会, 2010. ・小西恵美子編集. 看護倫理：よい看護・よい看護師への道しるべ. 改訂第3版. 南江堂, 2021. ・手島恵. 看護者の基本的責務：定義・概念/基本法/倫理. 2024 年版. 日本看護協会出版会, 2024.
急性・重症患者看護	・厚生労働省. 終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン. 2007. http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/05/dl/s0521-11A.pdf ・厚生労働省. 終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン解説編集. 2007. http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/05/dl/s0521-11B.pdf ・江川幸二, 山勢博彰編集. 看護のためのクリティカルケア場面の問題解決ガイド. 三輪書店, 2013. ・救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン～3学会からの提言～. https://www.jsicm.org/pdf/1guidelines1410.pdf

分野	参考図書
感染症看護	• 赤林朗, 大林雅之編著. ケースブック医療倫理. 医学書院, 2002. • Dooley D, McCarthy J. 看護倫理 1. 坂川雅子訳, みすず書房, 2006. • Dooley D, McCarthy J. 看護倫理 2. 坂川雅子訳, みすず書房, 2006. • Dooley D, McCarthy J. 看護倫理 3. 坂川雅子訳, みすず書房, 2006. • 松田純, 江口昌克, 正木祐史編集. ケースブック: 心理臨床の倫理と法. 知泉書館, 2009. • バーナード・ロウ. 医療の倫理ジレンマ解決への手引き: 患者の心を理解するために. 北野喜良, 中澤英之, 小宮良輔監訳, 西村書店, 2003. • 大曲貴夫, 操華子編集. 感染管理・感染症看護テキスト. 照林社, 2015.
災害看護	• Fry ST, Johnstone MJ. 看護実践の倫理: 倫理的意思決定のためのガイド. 第3版. 片田範子, 山本あい子訳, 日本看護協会出版会, 2010.
放射線看護	• Davis AJ, et al. 看護倫理を教える・学ぶ: 倫理教育の視点と方法. 小西恵美子監訳, 和泉成子, 江藤裕之翻訳, 日本看護協会出版会, 2008. • 木下富雄. リスク・コミュニケーションの思想と技術: 共考と信頼の技法. ナカニシヤ出版, 2016. • 江川幸二, 山勢博彰編集. 看護のためのクリティカルケア場面の問題解決ガイド: 基礎からわかる臨床に活かす倫理調整. 三輪書店, 2013. • 吉武久美子. 看護者のための倫理的合意形成の考え方・進め方. 医学書院, 2017.